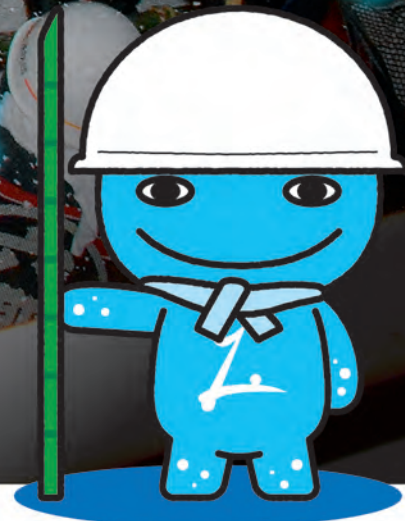


六郷のカマクラ

毎年2月11日から15日にかけて行われる「六郷のカマクラ」は700年の歴史があるといわれ、新しい年の幸せを願う小正月行事です。

期間中は、新しい年の願い事が書かれた「天筆」が各家の戸口に立てられます。また、六郷地区の各町内にトリゴヤ（鳥追い小屋）が作られ、その中で餅やミカンを食べながら談笑にふけります。15日の夜、人々が「天筆」を持って秋田諏訪宮前のカマクラ畑に集まり、神主の祝詞に続いて中央にある2基の松二才に火が入られると、人々はその火で天筆を焼きます。天筆焼きの前後には、米作の豊凶を占う行事として「竹うち」が行われます。

これが「六郷のカマクラ」の基本の形です。多くの小正月行事が観光化されていく中、本来の姿を保ち住民の伝承意識も高いことから、昭和57年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。



2月15日㈫のカマクラ会場で燃やす松飾りについては、六郷地区を巡回して回収していますが、近年、直接会場に持ち込まれる方が多く、会場付近の道路が渋滞しています。事故を引き起こす原因になりますので、カマクラ会場には松飾りを直接持ち込まないようご協力をお願いします。※松飾り以外のものは回収しません。

問●六郷のカマクラ行事継承会事務局 ☎0187(84)0110



「六郷のカマクラ」関連行事&関連イベントスケジュール

天筆

天筆は緑、黄、赤、白、青(紫)の順に紙を繋ぎ合わせて作り、願い事を書きます。2月11日(土)祝日から15日(水)までの間、各戸や町内施設などに掲揚されます。

天筆書き体験

願い事を天筆に託してみませんか。どなたでも参加できますので、お気軽にご来場ください。

期間 ◆2月11日(土)祝～15日(水)

午前10時～午後4時(15日は午後6時まで)

会場 ◆名水市場湧太郎「國之聲ホール」

料金 ◆1組3,000円

鳥追い行事

雪室(鳥追い小屋)や雪宮が町内に作られます。鳥追い小屋は元来、雪鳥を追いつつために子どもや老人が詰めた田畑に作られた小屋のことですが、ここでは正月の雪の中で疑似の農作業を行い新年の豊作を願う農耕予祝行事の一つです。

打ち上げ花火

日時 ◆2月15日(水) 午後7時40分

※今回の花火は県の新型3回ナウシルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して打ち上げます。

竹うち

六郷地区の町内が南軍と北軍に分かれ、7mから8mの青竹で打ち合います。南軍が勝つと米の値が上がります、北軍が勝つと豊作になると言い伝えられています。

日時 ◆2月15日(水) 午後8時

会場 ◆カマクラ畑(秋田諏訪宮前)

飲食等の出店

日時 ◆2月15日(水) 午後5時

会場 ◆観光案内休憩所(清水の館通り沿いに設置の特設販売所)

問 ●六郷のカマクラ行事継承会事務局

☎0187(84)0110

会場案内マップ

竹うち会場
カマクラ畑



六郷の
カマクラ行事
松飾りの
回収について